

2025年1月17日

報道関係各位

河南町
大和ハウス工業株式会社

大阪府南河内郡河南町と大和ハウス工業が連携協定を締結 より住みやすく、より魅力あるまちづくりを推進

河南町（町長：森田昌吾）と大和ハウス工業株式会社（本社：大阪市、社長：芳井敬一、以下「大和ハウス工業」）は、2025年1月17日、「より住みやすく、より魅力あるまちづくりの推進に関する連携協定」を締結しました。



【協定締結式の様子】

中央左：河南町長 森田昌吾
左：河南町 副町長 江島芳孝
中央右：大和ハウス工業 執行役員 リブネスタウン事業推進部長 神田昌幸
右：大和ハウス工業 リブネスタウン事業推進部 副部長 脇濱直樹

河南町は、1956年の町制施行後、人口は9,000人程度で推移していましたが、大和ハウス工業が、同町^{だいほう}大宝地区にて1972年に約2,000区画の戸建住宅団地「阪南ネオポリス」の開発に着手したこともあり、2005年にはピークとなる17,545人まで増加しました。しかし、開発から約半世紀が経ち、2024年10月には14,587人と減少しています。また、65歳以上の住民が人口に占める割合は、2005年10月1日時点の20.8%から2020年10月1日時点では33.9%と増加しました。人口減少や少子高齢化が進み、コミュニティの希薄化が顕在化することで、公共サービスの維持など河南町での生活への影響や経済規模の縮小などが懸念されています。

そこで、河南町と大和ハウス工業は、官民が協働し社会課題解決に向けた取り組みを加速させることを目指し、より住みやすく、より魅力あるまちづくりを推進するための連携協定を締結しました。

本連携協定では、河南町大宝地区での課題の解決に官民連携で取り組み、子育て環境の充実や高齢者の生活支援などを行っていきます。

●連携協定の概要

協定締結日	2025年1月17日
連携事項	<ul style="list-style-type: none"> (1) まちをより良くする活動に取り組むこと (2) 子育て世代が魅力と感じるまちづくりに取り組むこと (3) 高齢者が生き生きと暮らし続けられる仕組みづくりに取り組むこと (4) 快適な暮らしを支える仕組みづくりに取り組むこと (5) その他、両社が協議により必要と認める事項

●「阪南ネオポリス」について

住所	大阪府南河内郡河南町大宝1丁目～5丁目	
開発時期	1972年～	
開発面積	約74万㎡（東京ドーム約16個分）	
世帯数	1,989世帯（2024年10月現在）	
人口	4,499人（2024年10月現在）	
高齢化率 （大宝地区）	37.8%（2020年10月1日現在）※1	
紹介サイト	https://www.daiwahouse.co.jp/about/community/livnesstown/hannan/	

※1. 総務省統計の国勢調査による

●大和ハウス工業が郊外型住宅団地で展開する団地再耕（再生）事業「リブネスタウンプロジェクト」

大和ハウス工業は、既存住民や新たに入居する住民が安心して快適に過ごせるまちなの実現を目指し、地域の課題を解決しつつ新たな「まちなの魅力」を創出するため、当社が開発してきた郊外型住宅団地「ネオポリス」のうち8カ所で、団地再耕（再生）事業「リブネスタウンプロジェクト」を展開しています。その事業を効果的に進めるためには、官民連携によるまちづくりが不可欠であり、これまで兵庫県川西市や同県三木市などの4つの地方自治体と連携協定を締結してきました。

2021年からは大阪府河南町の「阪南ネオポリス」において、リブネスタウンプロジェクトに着手しました。これまで、地域住民の方々との対話を通じた地域課題の把握や、信頼関係の構築に向けた地域住民との意見交換会や地域交流イベントなどを行ってきました。これらの活動がきっかけとなり、新型コロナウイルスの影響で中止が続いた地域行事「大宝まつり」が2023年12月に再開されました。

そしてこのたび、「阪南ネオポリス」の魅力向上に向けた取り組みを加速するため、河南町と連携協定を締結することとなりました。

以上

お問い合わせ先	
河南町 総合政策部 秘書企画課	0721（93）2500
大和ハウス工業 広報企画部 広報グループ	06（6342）1381